

鎌倉 ハートナース



(蓮池のカワセミ／西畑直樹)

鎌倉市市民活動センター 広報紙 第95号 令和2年7月発行(季刊)

発行／編集：鎌倉市市民活動センター

<http://npo-kama.sakura.ne.jp/ce/index.html>

リレートーク No.15



木村 俊平 さん

NPO 法人 日本エコロジーアップサイクル協会

<https://euaj.org/about/>



リレートークとは：鎌倉市で市民活動に取り組む人とその団体にスポットをあて、活動の様子を紹介するコーナーです。鎌倉らしい活動をされている方、地道にコツコツと頑張っておられる方がお近くにいらっしゃいましたら、リレーの輪に加わっていただきたいと思います。是非、お知らせください。

こんな市民活動しています！

NPO 法人 日本エコロジーアップサイクル協会は、紙袋、コーヒー豆のプラ袋、チョコレートの箱などから、財布、名刺入れ、手帳型スマホカバーなどの実用小物をアップサイクルする事でプラごみ、紙ゴミを減らす活動をしている市民団体です。

アップサイクルとは、そのままでは、ゴミになってしまう物を価値のある物に変える事を言います。

この活動のきっかけは、3年ほど前に、某有名コーヒーショップの紙袋から折財布 (Paper Wallet) を作ったのが始まりです。折人® - Oribito-というブランド名で創作活動を進める中で、技術の探求とともにこの技術を普及させたいと思い始めました。また、当初から紙袋から実用小物を作る事は、自然に優しいエコ的な活動だなと漠然と思っていたのですが、2018年冬に、朝日新聞主催「2030 SDGs で変える」ダンボールから名刺入れを作るワークショップ イベントに参加し、アップサイクル、SDGs を知り、自分のやっている創作の中の技術普及の側面に対して、紙袋、プラ袋から財布、名刺入れなどの実用小物を作る事をみんなで楽しくやる事で、プラごみ、紙ゴミを減らす活動に繋がるのではないかと思います。2019年秋に、NPO 法人 日本エコロジーアップサイクル協会を設立しました。

当協会の活動目的は、ワークショップを通して紙袋、プラ袋から財布などの実用小物をアップサイクルできる人を増やしプラごみ、紙ゴミを減らす事です。その目的を達成するためにアップサイクルを教えられる人を増やすため認定講師の育成を行っています。

ワークショップは、タリーズコーヒー鎌倉鶴岡八幡宮前店、江ノ電江ノ島店 (新型コロナウイルス感染拡大防止の影響で、現在は休止中)、藤沢のエコストア パパラギ、糀谷 なごみ Café などで開催しています。タリーズコーヒーでのワークショップに関しては、開催できる店舗を拡大していく予定です。また、鎌倉市の放課後かまくらっ子、湘南 VISION 大学と言う市民大学でもアップサイクルワークショップを開催します。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、対面でのワークショップを控えている時期には、遠隔会議アプリ Zoom を使って、紙袋からマスク入れを作るオンラインワークショップを休校中の小中高生向けに開催していました。オンラインワークショップに関しては、新たな取り組みとして継続して行きたいと思います。

今後も、ワークショップ開催を通じて、アップサイクルできる人を増やしプラごみ、紙ゴミを削減する活動を続けて行きたいと思います。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、デリバリー用のプラ容器や飛沫感染防止用の透明なアクリル板などが多く使われプラごみの増加が懸念されますが、その点にもフォーカスして行きたいと思います。

ネットにつながる 新コミュニケーション！

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、新しい生活様式が求められ、移動せずに遠方の人と顔を合わせてできる「リモート会議・オンライン会議」を導入している団体が増えてきています。インターネット環境とパソコン・スマホ・タブレットがあれば始められるこのシステムを使えるようになると、コロナ禍であきらめていた会議や講座を開催することも可能になり、団体の活動にとって大きなメリットです。今回はこのシステムをいち早く取り入れ、実践されている団体をご紹介します。

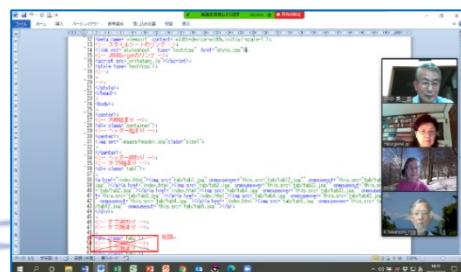
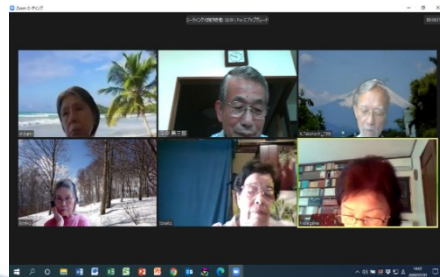
Ks ネット交流会 「Zoom やさしいHTML オンライン勉強会開催」

KS ネット交流会では毎月1回「やさしいHTML 勉強会」をNPO センター鎌倉で開催してきましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止でミーティングルームが使用できなくなったので、この3月以来中止していました。

しかし会員が培ったパソコンスキルを通し社会に貢献できる活動、教養を高めるための講座・サークル、会員との交流会など 時代に即した活動に努めることを自認するKS ネット交流会としては Zoom を活用したオンライン勉強会を6月より開催しています。講師含めて参加者は6名で、「画面の共有」を使って資料を共有し、順調に進めています。

この経験をもとに、オンライン講座、オンラインミーティング等を広めていくことができれば良いなと思っており、希望団体があればご連絡ください。

KS ネット交流会 平中勇三郎



図書館とともだち 「オンライン会議に挑戦」

私たちは毎週会合を開き折々の課題に対して活動方針を決めていますが、4月以降は集まりをやめEメール等で連絡を取り合いました。ですが活発な意見交換にはなにくい為、5月に2度Zoom会議に挑戦しました。

Zoom 未経験のメンバーが多かったものの久しぶりに見る顔と声は懐かしく、楽しい試みでした。6月2週からは再び集まりを持つようになりましたが、7月1日に3回目を行いました。それは時間的、距離的な制約の少ないオンライン会議を定着させたいと考えたからです。手応えを感じる一方、課題もあります。

一番の問題はこの形式に抵抗があるメンバーもいることです。

それでも新しい活動方法の一つとして模索を続けていきたいと考えています。

図書館とともだち・鎌倉 黒瀬聖子



日本語COSMOS 「Zoom 会議」

2月下旬からコロナの影響で、週2回の外国籍住民の為の日本語クラス、学校での子供達への日本語指導など、全ての活動がストップ。もちろん、月1回の定例会も中止でした。でも活動をこのまま休止するわけにもいかず、メールや電話での連絡が続きました。Zoomにチャレンジしてみようと5月に少人数での体験を開始。HP担当やオンライン経験者がリーダーとなり「初めの一步」です。

やってみれば案外難しくないとし少し安心しました。何より顔が見られるのが嬉しいという声があり、第2ステップは5、6人での練習。招待する側になったり、機能の確認などを実施しました。

そして、いよいよ6月20日、初めてのCOSMOS全員Zoom会議でした。20名の画面は久しぶりの笑顔で始まりました。会議のレジュメもメールで事前送信し、時間配分もきちんと決めていましたが、思うようには進まず、招待者は開始15分前からスタートしていたので、盛り上がった会議途中でタイムオーバーとなってしまいました。

でも次の40分も継続して予約されていたので、何とか続けることができました。報告事項などはスムーズですが、ディスカッションなど多人数は難しいという感想です。でも、メリットはたくさん。スマホやPCでのオンライン日本語指導も始まり、学習者との勉強が続いています。秋には対面授業再開を望んでいます、オンラインが必須になっていくのかもと、これからの授業のあり方を真剣に考えているところです。

日本語 COSMOS 楳本春子

オンライン会議講座 ～新しいコミュニケーションツールを体験してみよう！

オンライン会議を体験する講座を次のように開催します。全く初めての方でもスタッフが丁寧に対応しますので、この機会に気軽に試してみませんか。

日 時 ① 7月29日(水)、② 8月5日(水) 15:00～16:30

① 8月 1日(土)、② 8月8日(土) 11:00～12:30

内 容 ①と②をセットで受講してください。

① オンライン会議を体験する。Zoomを使ってミーティングする。

② オンライン会議を主催する。会議を招集して、運営する。

場 所 ご自宅での受講とセンターでの受講が選べます。

対 象 市民団体で活動されている方、同一団体で複数人の参加もOKです。

参加費 無 料

準 備 カメラ・マイク・スピーカーが利用できるパソコン、またはスマートフォン・タブレット

申込み 事前の確認事項がありますので、センターまでお電話でお問合わせください。

(TEL : 0467-60-4555)

センターからのお知らせ

会議室利用と時間外利用についてのお願い

会議室利用と時間外利用を再開しましたが、引き続き感染拡大防止の観点から以下のようなご協力をお願いいたします。

【ご利用の前に…】

- ご自宅で検温を済ませて、ご来館ください。
- 集合人数を最小限におさえてください。
- マスクの着用をお願いします。
- 手指の消毒をお願いします。

【ご利用中は…】

- 身体的距離を確保してください。
- 換気を積極的に実施してください。

【ご利用の後に…】

- 必ず利用票にご記入をお願いします。
- ご利用後の消毒、換気にご協力ください。

新規登録団体のご紹介

(令和2年6月末日現在)

☆特定非営利活動法人フットボールクラブ小坂

この法人は、幼児、児童を含む青少年に対してサッカーを主としたスポーツ環境の整備と振興に関する事業を行い、子ども達の健全育成と地域コミュニティ形成に寄与することを目的とする。この法人は、上記の目的を達成するため、次に掲げる種類の特定非営利活動を行う。

- (1) 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動
- (2) 子どもの健全育成を図る活動
- (3) まちづくりの推進を図る活動

☆特定非営利活動法人 鎌倉あそび基地

鎌倉あそび基地は、家庭でも学校でもない3つ目の子どもの居場所として、子どもを真ん中に地域と子どもたちをつなぎたいとの思いから、次の活動をおこなっています。

- ①学童保育ふかふか 自ら考えて行動する子どもたちが成長するのを、地域の大人が温かく見守り、寄り添い、応援しています。
- ②フリースクール Largo (ラルゴ) 「みんなのフリースクール」として、自由な学びを一緒に考えていきます。ワークショップや不登校の「その先」を考える講演会、親の心のサポートや学習支援をしています。
- ③プレリーダーと遊ぼう・大人向けイベント ロープワークや木工、ヨガ、書道などを通して、大人も子どもも楽しんでいます。

☆鎌倉 web サポート友の会☆

鎌倉市市民活動センターで10数年前から開催されてきました市民活動団体向けwebプログラミング講座に参加された団体の皆様へのアフターサポートを目的とし会員間の相互の支援、親睦を目的としています。サポートする側・される側という区別なく・垣根なく、各個人・団体が得意とする分野・技術・知識を知りたい、習得したい、必要とする団体・個人に無償を前提としての支援と学習をめざします。

☆かまくら英訳観光協会 (KETA) ☆

日本の魅力を海外に伝え、地域を通して関わる人や場所をつなぐ活動を主軸に有志が集まりNPO市民団体として2015年に設立しました。コンセプトは「YOKOSO」(相手にウェルカムの心をつないでいくこと)。地域に住む人、働く人、学ぶ人、来訪する人など、人と人、人と場所をつないでいくプロジェクトを起案・実践する団体です。

☆スイートポテトの会☆

高齢者世帯の生活環境を維持するための支援活動をしています。利用者-支援者間だけでなく支援者間同志の繋がりによる地域の共助の仕組み作りを目指しています。生活食品の買い物代行、電球交換、草取りなど日々の生活の手助けに主眼を置いた活動を行っております。主な活動地域は今泉台地区で魅力ある町づくりを目指しています。

編集後記：コロナ自粛期間中、どのように過ごされておられましたか？

私は「今、何をすべきなのか？」っと自分を見つめ直す良い4か月となりました。

断捨離に励み、逢えない方にお手紙を送り、Zoom体験もしました。

コロナウィルスが収束に向かい、早く元の生活に戻れますように願うばかりです。7月7日七夕 (藤)

NPOセンター鎌倉

〒248-0012 鎌倉市御成町18-10
TEL: 0467-60-4555
FAX: 0467-61-3928
E-mail: npo@chive.ocn.ne.jp

NPOセンター大船

〒247-0061 鎌倉市台1-2-25
(たまなわ交流センター1階)
TEL/FAX: 0467-42-0345
E-mail: npo2@abelia.ocn.ne.jp

令和2年7月現在 **利用登録団体数: 389 団体**

※ 利用登録団体の登録内容 (連絡先・代表者・活動内容等) に変更があった場合は、速やかにお知らせください。